

■ 本部事務所 TEL(082)831-5011 FAX(082)831-5013 Eメール: asami@shakyohiroshima-city.or.jp
■ 佐東老人いこいの家 TEL・FAX(082)879-7880 URL: https://shakyo-hiroshima.jp/asaminami/index.php

学区社会福祉協議会の取組み紹介

緑井学区 持続可能な社協体制づくりへの取組み

利便性良く住みやすいまちと言われる緑井学区の課題や社協の取組みについて、緑井学区社協の濱本康男会長と今村隆太郎地域福祉推進委員にお話をお聞きしました。

Q. 緑井学区の特色や良いところ、逆にどのような課題があるのかを教えてください。

A. 濱本会長: 緑井は平地で交通の便も良く、生活をする上で必要な施設等がほぼ全て揃っています。そのため、生活面ではあまり不便さを感じていない方が多いのではないのでしょうか。だからこそ、いつ起こるか分からない災害や困りごと等に対して、明日は我が身と日頃から危機感を持ち、「たすけあい」という意識を持つ必要があるように思います。

緑井学区社協では町民運動会や盆踊り大会、ふれあい広場でのグラウンドゴルフといった行事を開催していますが、担い手不足等もあり、地域活動を継続するための体制づくりが課題のひとつです。それを突破するきっかけとして、社協構成団体同士が日常的な連携がとれる体制づくりや横の繋がりをつくることを目的に連絡会議を始めました。町内会が社協の主要な構成団体でもあるので、町内会加入促進にも取り組んでいます。町内会加入率が低下している中で、どう地域を

支えていくか。昔から緑井に住んでいる人だけが支える緑井ではなく、新しく住み始めた人にも是非活動に加わってもらい、緑井学区を支えてほしいと思います。緑井は住んでいる人全員にとって「ふるさと」なのですから。緑井学区社協の拠点はJRの緑井駅という素晴らしい立地にあるので、今、地域の方に気軽に立ち寄りてもらえるような仕掛けを考えています。



▲左から今村地域福祉推進委員、濱本会長

Q. 緑井学区社協では様々な行事を通じて、地域の子どものたちとの関わりも大事にされていますね。

A. 濱本会長: 緑井小学校1年生には昔の遊び(けん玉やあやとり等)を教えたり、4年生には「神社のななし」として地域にある神社のいわれや行事を教える活動をしています。子どもたちにとって地域の神社の話はなかなか聞く機会がな

いと思うので、これを機に緑井のことをもっと知ってもらいたいです。このような行事を通して地域の中での絆や繋がりを作ることも大切なのではないのでしょうか。

Q. 地域福祉推進委員としての思いを聞かせてください。

A. 今村地域福祉推進委員: 緑井学区では各町内会単位でいろいろな行事を行っているため、学区社協の地域福祉推進委員という立場ではあまり出番がありません。

私自身の思いとしては社協構成団体それぞれの団体の現状や地域課題等の把握に努めたり、何らかの相談があった時には状況をまとめて会長や区社協に相談したりする。そのような役割を果たしていきたいです。

また、地域福祉推進委員と合わせて緑井学区社協ボランティアバンクも担当し、地域課題である地域猫対策への取り組みを進めています。今年度、ボランティアバンクでは地域猫対策に関する研修会を開催しました。地域にはいろいろな課

題やニーズがあります。それをどう拾っていくかが社協の役割だと感じていますし、皆の協力を得ながらひとつひとつ解決に向けて進んでいきたいです。



▲JR緑井駅前にある緑井学区社協事務所

祇園学区 誰もが「祇園に住んで良かった」と思えるまちづくりを目指して

祇園集会所を拠点として、福祉のまちづくりに取り組まれている祇園学区社協の堀江正憲会長、渡邊美紀子地域福祉推進委員、濱長智子氏(祇園集会所管理)にお聞きしました。

Q. 祇園学区社協の取組みと特徴を教えてください。

A. 堀江会長: 祇園学区での主な取り組みは、避難訓練、敬老会、町民運動会、子ども・地域の安全パトロール等です。

平成23年に祇園小学校の児童3名が水の事故で亡くなるというとても悲しい出来事が起こり、平成26年8月20日の広島土砂災害も経験しています。そのことから、命の大切さを実感し、平成28年から学区内の保育園・幼稚園等の園児を対象に緊急時避難訓練を行っています。一人では行動するのが難しい乳幼児を安全に避難させることは、要支援者の安全な避難行動に繋がると考えています。実際に避難訓練をしてみると靴が脱げる等色々難しいことがわかりました。幼少期から防災意識を持つことや、日頃から顔の見える関係性づくりが大切だと感じています。また、訓練で得られたことを参考資料にまとめ、皆で共有しています。

渡邊地域福祉推進委員: 祇園学区の敬老

会は女性会やPTA、民児協等の各種団体皆が関わって「感謝」という気持ちで開催しています。祇園学区に住んで良かったと思えるようなまちづくりが祇園学区社協の活動の基本です。

堀江会長: 祇園学区には、イオンモール祇園の周辺に幼稚園や学校があります。これまでにJR下祇園駅の整備や、小学校の学びの妨げにならないよう防音壁を作る等様々な提案を行ってきました。「地味に地道な活動を積み重ねている」のが祇園学区の特徴ではないかと思っています。



▲左から堀江会長、濱長氏、渡邊地域福祉推進委員

Q. 地域活動に携わるようになったきっかけや、拠点である祇園集会所での活動を教えてください。

A. 渡邊地域福祉推進委員: 以前は民生委員をしていました。役を終えた後、祇園学区社協の会合に参加した際に、前任者から「地域福祉推進委員になってほしい」と依頼されたことがきっかけです。濱長氏: 祇園学区社協の寺本事務局長との繋がりです。PTA執行部時代から青少年協の活動にも携わり、昨年末までは主任児童委員を務めました。同時期に、祇園集会所の庶務会計、拠点事務、常駐管理人不在を補う活動が加わり、現在に至っています。

集まり、活動名の「よかろうて(余暇労手)」は、「来てよかろうて、仕事をしてよかろうて」からきています。また、毎週火曜日に行っている「いきいき百歳体操」は、8名から始まり、現在は40名を越えています。火曜日を楽しみに、皆さんいきいきと参加されています。「あそこに行けば話ができる、何か楽しいことがある」と感じてもらえる場所がこの拠点で、皆さんと一緒に考えながら、これからも地域の大切な居場所として活用していきたいと思っています。

集会所1階にふれあいルームを設け、地域文庫を設置し、毎週金曜日に貸し出しをしています。ここでは、折り紙や工作なども行われその繋がりから、古布を利用した小物づくりも始まりました。地域の居場所として活用されています。皆さんの笑い声が聞こえ、とてもいい雰囲気になっています。

渡邊地域福祉推進委員: 空いた部屋を何かに活用できないかとみんなで話し合い、集会所に関わるボランティアを募集しました。ボランティアは第2土曜日に



▲地域文庫をきっかけにエコ工作・手芸づくり

生活支援体制整備総合事業について(その4)

安佐南区住民主体型生活支援訪問サービス実施団体の情報共有・意見交換会(平成31年度第1回安佐南区域協議体)開催

この度、令和2年2月7日(金)に安佐南区総合福祉センターで開催しました。この会は住民主体型生活支援訪問サービス実施者、安佐南区社協正副会長、地域包括支援センター、安佐南区健康長寿課の方々にお集まりいただき、「生活支援を始めて良かったこと」「住民主体型生活支援訪問サービスの印象」「今後、行ってみたいこと、あったらいいなと思うこと」について、ざっくばらんに意見の共有・交換を行いました。今回の意見を参考に、今後も共助促進のための情報と意識の共有の場(協議体)を開催していく予定です。

生活支援コーディネーター 江角 友希

活動を通して地域のつながりが深まった

活動を感謝される事が「生きがい」になっている



見守り活動とうまく関われば良い

地域が本当に求める活動を知る必要がある

円滑な活動が行えるよう工夫したい

安佐南区ボランティアセンター通信

平成31年度 安佐南区ボランティアセンター登録グループ (令和2年3月現在)

ボランティアグループ紹介

ガイドサークルむつみ会

【活動内容】
視覚障がい者の外出支援、福祉教育への協力、グループでの勉強会の実施、視覚障がいの理解、視覚障がい者との交流、盲導犬普及募金の手伝い。
●活動場所：広島市内を中心
●定例会日時：年6回
●定例会場所：安佐南区総合福祉センター

点訳サークルむつみ会

【活動内容】
視覚障がい者との交流および区報、社協あさみなみや個別ニーズの点訳、点字カレンダーの作成、福祉教育の支援など。
●定例会日時：第2・4木曜日 10:00~12:00
●定例会場所：安佐南区総合福祉センター

音訳ボランティアむつみ会

【活動内容】
視覚障がい者の方々への情報提供及び交流。区報、社協あさみなみ、天風録・こだま等の音声訳をテープとCDに録音。また、個別の依頼による音声訳の録音など。
●定例会日時：第2水曜日 10:00~12:00
●定例会場所：安佐南区総合福祉センター

音訳ボランティア 祇園

【活動内容】
女性を元気にする地域生活情報紙「リビングひろしま」を中心に音声訳テープの作成。
●活動日時：第1・3金曜日 9:00~16:00
第2・4金曜日 9:00~12:00
●活動場所：安佐南区総合福祉センター

広島市要約筆記サークル おりづる安佐南支部

【活動内容】
聴覚障がい者に対して、OHCなど機器やボード等を使用した要約筆記など。
●定例会日時：第2・4木曜日 9:30~12:30
●定例会場所：安佐南区総合福祉センター

要約筆記サークル さくら

【活動内容】
聴覚障がい者、難聴者のコミュニケーション文字で手助けする学習や交流を通して技術の向上、要約筆記を知ってもらうための啓発活動など。
●活動日時：第2・4月曜日 10:00~12:00
●活動場所：安佐南区総合福祉センター

聴覚障害者交流サークル なの花

【活動内容】
聴覚障がい者と健聴者の屋内外での筆談による交流など。
●定例会日時：第3月曜日 10:00~12:00
●定例会場所：安佐南区総合福祉センター

手話サークル 古市

【活動内容】
手話を通して、聴覚障がい者と健聴者が学び合い、地域に理解を求め手話を広める活動。
●活動日時：毎週火曜日 10:00~12:00
●活動場所：安佐南区総合福祉センター

手話サークル かけはし

【活動内容】
聴覚障がい者との手話の学習や交流を通して、聴覚障がい者の理解を深める。手話の普及及び啓発活動など。
●活動日時：毎週土曜日 10:00~12:00
●活動場所：安佐南区総合福祉センター

手話サークル いこい

【活動内容】
手話の学習、交流会等を通して聴覚が不自由な方と健聴者が手話で学び合い、助け合いながら地域社会に理解を求めていく活動など。
●活動日時：毎週木曜日 11:30~13:30
●活動場所：緑井学区集会所

安佐南区精神保健福祉家族会のぞみ会

【活動内容】
主にこころの不安を持つ方を抱える家族からの困りごとや、悩みの相談を行う。医療や福祉に関する情報提供・共有、勉強会の開催など。
●定例会日時：毎月第4水曜日 13:30~
●定例会場所：安佐南区総合福祉センター

ごったにの会

【活動内容】
障がいを持つ当事者支援を行う。住居探しや障害程度区分申請の代行申請、セルフプラン作成のサポートなど。
●定例会日時：随時
●定例会場所：事務局(個人宅)など

運転ボランティア うさぎ会

【活動内容】
車いす利用者の外出支援のためのリフト付き車両「うさぎ号」による運転ボランティア、福祉教育への協力など。
●定例会日時：偶数月第1火曜日 13:30~15:30
●定例会場所：安佐南区総合福祉センター

安佐南在宅看護職の会

【活動内容】
「まちの保健室」での高齢者の健康づくりや健康相談など。
【まちの保健室】
【祇園福祉センター】 第2・4水曜日 13:00~15:00
【佐東老人いこいの家】 第1・3月曜日 10:30~12:00

子育てサークル応援グループ MaMaほっけ

【活動内容】
子育てサークルへの支援、あそびネタサロン開催、MaMaほっけ通信の発行、子育てサークル訪問など。
【あそびネタサロン】
活動場所：安佐南区総合福祉センター、区内公民館 など
第4火曜日 10:00~14:00

ワイワイ広場実行委員会

【活動内容】
子どもや親子などの「地域の暖かい居場所づくり」を目的とする。また、子どもとの交流を図ることで、地域全体で子どもを育てていく意識を持ち、各家庭の子育ての軽減を目指す。
●活動場所：広島医療生協 虹の会館1階ほっこり
●活動日時：第2土曜日・最終金曜日

ボランティアグループ あじさい

【活動内容】
高齢者施設利用者の傾聴活動など。
●活動日時：第1火曜日 13:00~
●活動場所：老人ホーム「上安慈光園」

華々グループ

【活動内容】
特別養護老人ホーム「菜の華」での縫い物など。
●活動日時：第3火曜日 13:30~15:00
●活動場所：特別養護老人ホーム「菜の華」

ほほえみ

【活動内容】
デイケア利用者へのパソコン支援。
●活動日時：第1・2・4火曜日
●活動場所：安佐病院 通所(デイケア)花みずき

安田ボランティア部

【活動内容】
福島県南相馬市お茶会サロン参加 8.6平和記念式典車いす介助 保育まつり・障害児こどもまつりへの参加 託児ボランティア・行事支援など
●定例会日時：不定期
●定例会場所：安田女子大学内

活動支援チーム 防災・災害ボランティア (通称:5Kチーム)

【活動内容】
災害ボランティアセンター運営経験者が集まり、社協の防災・災害活動を継続して支援しています。-5K(ごけい・互恵)とは-災害の経験・教訓などを、「継承」「警戒」「教育」「交流」「行動」していきたいという想いがあります。
●総会：毎年8月20日 活動日時：随時

ボランティアについてのお問い合わせ先

社会福祉法人 広島市安佐南区社会福祉協議会 (安佐南区ボランティアセンター)
TEL 082-831-5011 FAX 082-831-5013
E-mail asami@shakyohiroshima-city.or.jp

まごころに感謝します

お寄せいただいた善意は地域福祉のため、有効に活用させていただきます。

(令和元年8月1日~ 令和2年2月29日まで 一受付順)

○一般寄附
広島美しい町協同事業協会 様 / 広島国際大学 様 / ヘルパーステーション絆 様 妹尾皮膚科医院 様 / 中山 俊郎 様 安東六丁目にお住まいの方 / 他 二名 様

災害義援金のご報告

安佐南区内の学区(地区)社会福祉協議会等から義援金をお寄せいただきました。受け付けた義援金は、義援金募集を行っている各都道府県に送金し、被災者へ配分されます。

名 称	単位:円
1 平成30年7月広島県豪雨災害義援金 (令和2年6月30日まで募集)	5,497,871
2 令和元年台風第19号災害義援金 (令和2年3月31日まで募集)	1,454,391

赤い羽根共同募金のお礼

皆さまから寄せいただく「赤い羽根共同募金」は、地域福祉活動や高齢者・障がい者・子育て支援等に役立てられています。また、大規模な災害が起こった際に災害ボランティア活動の支援など、被災地を応援するためにも使われています。

平成31年度共同募金実績額 (安佐南区) 14,555,800円
令和2年1月31日現在

募金をご協力いただいた地域の皆様、活動にご尽力いただいた関係者の皆様にお礼申しあげるとともに、今後とも「じぶんの町をよくなるしくみ」のひとつとして、共同募金へのご協力をよろしくお願い致します。

お気軽にご相談ください

無料です

安佐南区社会福祉協議会では、生活上のあらゆる困りごと、悩みごとについての相談をお受けしています。お気軽にご相談ください。

弁護士相談

毎月第3水曜日 13:00~15:00 (要予約)
金銭トラブル、不動産、家庭問題、遺産相続など分かりにくい法律の疑問に弁護士がお答えします。*8月は休み

まちの保健室

在宅看護職の会が健康相談を行います。
佐東老人いこいの家 第1・3月曜日 10:30~12:00
祇園福祉センター 第2・4水曜日 13:00~15:00

子育て・サークル相談

第4火曜日 10:00~14:00
先輩ママ「MaMaほっけ」による子育ておしゃべりの場です。はじめての子育て、仲間づくりを応援しています。また、子育てサークルのことや子どものこと、ママ、パパたちの悩みなどの相談のっています。ママ、パパの気分転換にどうぞ!

安佐南区くらしサポートセンター

様々な理由により生活に悩みや不安を感じている方の相談窓口です。「長い間仕事から離れていて、なかなか仕事が見つからない」、「家計のやりくりが難しい」、「借金を抱えて生活が苦しい」などの相談をお受けしています。
所在地 広島市安佐南区中須1-38-13 安佐南区総合福祉センター5階
電話 082-831-1209
時間 8:30~17:15
電話や来所だけでなく、相談員による訪問相談も可能です。

掲載記事へのご意見・感想・お問い合わせ先

社会福祉法人 広島市安佐南区社会福祉協議会事務局 〒731-0194 広島市安佐南区中須1-38-13
TEL 082-831-5011 FAX 082-831-5013 E-mail: asami@shakyohiroshima-city.or.jp